

複合構成システムへの発展

Evolution to composite configuration systems

システムの高信頼化、高性能化、機能分散の要求を同時に満足させ、大規模システムを実現するDIPS複合構成システムを世界で初めて開発した。複合構成システムは100Mビット/秒の光データループにより多数のホストと通信制御処理装置を完全群接続することにより実現する方式で、新たにプロセッサ間結合装置、システム制御プロセッサ、周辺系切替装置などを開発した。

複合構成システムの特徴

待機予備装置による高速サービス再開など、システムを高可用性、高信頼化。

SCPにより、システムの運転監視制御を集中化、自動化。

ノード間距離の長尺化などにより大規模システム構築を容易化。

